



介護予防機器を体験する舛添知事（左）

知事 分析装置メーカー視察

八王子 介護予防機器を体験

舛添知事は29日、八王子市小宮町の分析装置メーカー「システム・インストゥルメンツ」を視察した。同社は、高齢者が適度な負荷で運動し、結果を自動的に記録する「介護予防自動筋力トレーニングシステム」で、2012年の都ベンチャー技術大賞特別賞を受けた。14年度は前立腺がん小型診断装置の開発プロジェクトが都の助成対象になるなど、様々な分野で研究・開発を進めている。

舛添知事は遺伝子の分析装置などを見学後、濱田和幸社長から説明を受けた。濱田社長は「都から、トレーニングシステムで使う介護予防機器を体験した。同システムは全国のデイサービス施設など70か所以上で導入されている」といい、濱田社長は「都からの助成で様々な製品が開発できている」と述べた。

舛添知事は「素晴らしい技術が東京の産業を支えて

おり、うれしい。介護機器はデータが出るので、日々努力している人に良いと思う。前立腺がん診断装置も爆発的なニーズが生まれるのではないかと期待を寄せた。